

【今週の注目疾患】

インフルエンザ

2016年1週の県全体の定点当たり報告数は、2015年53週の0.70から増加し2.49となった。前週から3倍以上の増加となっており、今後の流行状況に注意が必要である。

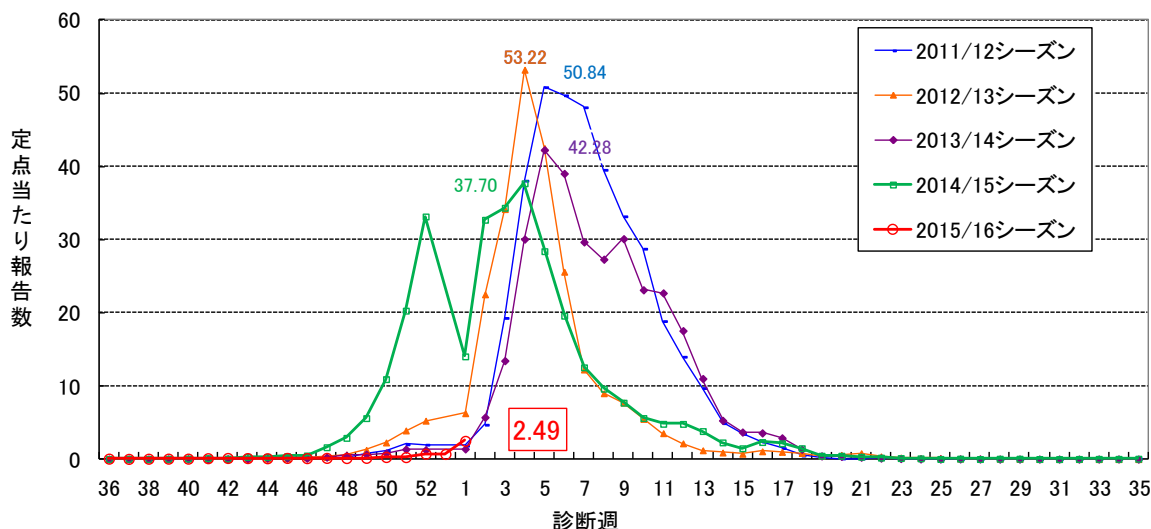
保健所別では、16保健所中15保健所管内で増加し、長生(5.00)、松戸(4.36)、夷隅(3.80)、印旛(3.74)、市原(3.09)、山武(3.00)、習志野(2.69)が多かった。

2015/16シーズン全体の年齢群別報告割合は、5～9歳が21.5%、0～4歳が16.4%、30～39歳が13.4%、40～49歳が12.7%、10～14歳が9.9%であった。

2015/16シーズン全体の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、1,149例中A型903例(78.6%)、B型231例(20.1%)、A and B型5例(0.4%)、A or B型10例(0.9%)であった。

平成27年度 今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)
 URL: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



インフルエンザ

